

社団法人 日本病院会 平成22年度 第3回定期理事会 議事抄録

日 時 平成23年1月11日(火) 13:00～17:00
会 場 ホテルオークラ東京 別館 2階 「オーチャードルーム」
東京都港区虎ノ門 2-10-4 電話 03-3582-0111

出席者 堺 常雄 会長
今泉暢登志、高橋 正彦、末永 裕之、梶原 優、大道 道大 各副会長
宮崎 瑞穂、木村 壯介、松本 純夫、万代 恭嗣、中井 修、福井 次矢、
渡邊史郎、山田 實紘、武田 隆久、生野 弘道、小川 嘉誉、中島 豊爾、
土井 章弘、塩谷 泰一、岡留健一郎、安藤 文英 各常任理事
中村 博彦、佐々木 崇、宮下 正弘、吉田 孝宣、吉田 象二、原 義人、
山口 武兼、山田 哲司、神原 啓文、松本 隆利、足立 幸彦、田中 一成、
松谷 之義、藤原 久義、佐々木順子、砂川 晶生、奥村 秀弘、小西 裕、
成川 守彦、土谷晋一郎、片岡 善彦、武久 洋三、岡田 武志、細木 秀美、
高野 正博、松本 文六、吉田 博、石井 和博 各理事
柏戸 正英、宮川 信、石井 孝宜 各監事
野口 正人 代議員会議長、中嶋 昭 代議員会副議長
奈良 昌治、山本 修三、池澤 康郎、佐藤 眞杉、大井 利夫、村上 信乃、
宮崎 忠昭 各顧問
高久 史麿、洪 愛子（久常節子会長の代理出席）松田 朗、矢崎 義雄、
堀内 龍也、池上 直己、齊藤 壽一 各参与
前原 和平、有賀 徹 両委員長
三浦 將司 支部長
永易 卓 病院経営管理者協議会会長
五十嵐邦彦 公認会計士

堺 会長の開会挨拶後、会議定足数として、定数 65 名中、出席者 50 名、委任状 15 通、計 65 名(過半数 33 名)で会議が成立している旨報告後、議事録署名人に中村 博彦、吉田 博 両理事を選任した。議案審議前に林 雅人（理事・前常任理事 11 月 30 日ご逝去）、中後 勝（元常任理事・12 月 5 日ご逝去）のご逝去を悼み黙祷を実施した。

黙祷後、救急医療委員会からの報告として、日本救急医療財団の島崎 修次 理事長から、「救急医療基本法」についての講演を願い、出席者との質疑応答を実施した。

議事進行は、高橋 正彦 副会長が行った。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

前回の役員会後の会員異動の紹介があり、協議の結果、届出を承認した。

(正会員の退会 3 件)

- ①福岡県・医療法人社団 杏林会 金隈病院（会員名：岡山 昌弘 理事長）
- ②佐賀県・医療法人 至誠会 至誠会病院（会員名：山口龍太郎 院長）

③沖縄県・医療法人 タピック 宮里病院（会員名：宮里 好一 理事長）
 （退会慰留を実施し退会撤回施設 4 施設を紹介）
 （賛助会員の入会 1 件）

①D会員・東京都・大内 明（公認会計士）

平成 23 年 1 月 11 日現在

正 会 員 2,503

特別会員 237

賛助会員 241（A 会員 98、B 会員 110、C 会員 1、D 会員 32）

2. 関係団体からの依頼等について

下記依頼事項を検討した結果、依頼を承認した。

（継続・協賛依頼 2 件）

①第 17 回第 1 種 ME 技術実力検定試験及び講習会の協賛

②「がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会」の後援

（継続・委員委嘱 3 件）

①理事（日本医業経営コンサルタント協会）の継続就任

・推薦候補者：梶原 優 副会長

②理事（医療機器センター）の継続就任

・推薦候補者：大道 道大 副会長

③「がん診療連携拠点病院の指定に関する検討会」構成員の継続就任

・推薦候補者：宮崎 瑞穂 常任理事

（新規・後援依頼 1 件）

①慢性期医療展 2011（日本慢性期医療協会）の後援

3. 創立 60 周年記念事業について

創立 60 周年を迎えるにあたり、平成 23 年 5 月 27 日（金）に記念式典、祝賀会を開催する旨の提案があり、承認された。記念講演には、日本学術会議の金沢一郎会長にお願い申し上げ、内諾を得た旨の報告があった。

※会場は、すべてホテルオークラ東京（東京都・港区）

会議名等	時間帯	会 場
会長・副会長会議	10:00～11:00	別館 2 階・メイプルルームⅡ
理事会	11:10～13:20	別館 2 階・メイプルルームⅠ
代議員会・総会	13:30～14:20	別館地下 2 階・アスコットホール
記念講演	14:40～15:40	別館地下 2 階・アスコットホール
記念式典	16:00～16:50	別館 2 階・オーチャードルーム
記念祝賀会	17:00～19:00	別館地下 2 階・アスコットホール

4. 新公益法人制度への移行について

新公益法人制度への移行（公益社団法人、一般社団法人）について 10 月 25 日の常任理事会会で検討した結果、一般社団法人への移行として承認を得ている旨の報告後、移行に

伴うメリット、移行に伴うスケジュール（案）等について説明を行い、審議した。審議の結果、理事会においても「一般社団法人」に移行することで承認され、3月期の代議員会、総会に上程することとした。

5. 顧問の退任について

桜井 充 参議院議員が財務副大臣に就任され、顧問の辞退届けが提出された。本件については、11月27日の常任理事会で報告をし、承認を得ているが、顧問の委嘱は、代議員会の承認事項であり、3月26日開催の代議員会に上程することとした。

6. 病院中堅職員育成研修（案）について

新規事業として、病院の質向上に寄与できる病院中堅職員の育成を図るため「病院中堅職員育成研修」（コース：①財務・会計②人事・労務管理③経営管理④医事管理）を行いたい旨の提案があり、育成研修事業は承認された。

7. 委員会運営規則の一部変更について

昨年4月の役員改選に伴い各種委員会を設置したが、委員会によっては、特別委員、アドバイザー、オブザーバーとして委員参画しており、従来の委員会運営規則に各事項を追加した旨の提案があり、検討の結果、一部改正を承認した。平成23年1月11日からの適用とした。

8. 小委員会の設置について

本会の臨床研修委員会（委員長：岡留健一郎）傘下に①専門医制度小委員会（委員長：吉田 象二・国保旭中央病院院長）②メディカルスクール小委員会（委員長：福井 次矢・聖路加国際病院院長）を設置し諸問題への対応を図りたい旨の提案があり、小委員会の設置を承認した。

9. 診療情報管理認定試験受験校の指定について

下記2校から認定試験受験校として申請があり、実査をした結果適正であり、指定を承認願いたい旨提案があり、協議の結果、指定を承認した。

①福岡県・学校法人滋慶文化学園 福岡医健専門学校（医療ビジネス科、診療情報管理コース、診療情報管理士研究科）

②静岡県・静岡福祉大学（医療福祉学科・医療情報コース）

10. 香川県支部の設立について

14番目の支部として、昨年11月19日に香川県支部が発足した。発足にあたり、支部会員構成、支部役員構成について提案があり、検討の結果、会員構成等を承認した。

11. 代議員（公的）の交代について

下記、代議員の交代について提案があり、協議の結果、交代を承認した。

香川県・公的代議員

(前任者) ^{おがわ ひろみち}小川 裕道 (香川県済生会病院 院長)

(新任者) ^{なかがわ よしのぶ}中川 義信 (国立病院機構 香川小児病院 院長)

〔報告事項〕

1. 各委員会等の開催報告について

下記諸会議の開催報告が実施された。

(1) 雑誌編集委員会(第7回・12月21日)

①日病雑誌1月号及び2月号の企画・編集について:1月号は毎年恒例となっている新春座談会「病院医療が目指すべき姿とは」をテーマ。第60回日本病院学会での招待講演「日本の医療改革(舛添要一前厚労大臣)」等を掲載予定。2月号は、第60回日本病院学会での特別講演を掲載予定。②日本病院会雑誌への読者アンケートについて:アンケート(案)を検討し、次回委員会での最終項目を決定することとした。③2011年度英文雑誌について:発行に向けての原稿募集を実施した。④表紙のデザインについて:読者から要望のあった表紙への目次を検討。

(2) 救急医療委員会(第5回・12月28日)

①救急医療アンケートについて:調査項目について最終決定を行い、近日中には会員への配布となる。②第61回日本病院学会でのシンポジウムについて:テーマが「救急医療再生のための短・中期目標」として決定し、シンポジストには、島崎修次(杏林大学医学部救急医学名誉教授)先生ほかが決めた。③四病協の委員就任について:二次救急に関する検討委員会委員に、高橋副会長、前原救急委員会委員長が就任することとなった。

(3) 診療情報管理士教育委員会・医師事務作業補助者コース小委員会

(第2回・12月18日)

①第4期生の募集・時間割についての検討。②今後の本コースの充実に向けた意見交換を実施。

(4) 第3期生・医師事務作業補助者コース研修会(東京都・12月18～19日)

571名の受講者。

(5) コーディング勉強会(22.12/18～12/19日分):8会場213名の受講者。

(6) 診療情報管理士教育委員会(第4回・1月7日)

①平成22年度後期科目試験(郵送)の合否について:合否判定を実施。②平成23年度事業計画について:事業内容を検討。

2. 日病協について

医療安全全国共同行動「共同行動2011」への継続参加を検討した結果、日病協が目指した活動と異なるため、継続参加を見送った旨の報告。各病院が自主的に参加することには問題はないとした。

3. 中医協について

下記内容の報告が行われ了承された。

①診療報酬調査専門組織 慢性期入院医療の包括評価調査分科会（第1回12月21日）

慢性期入院医療に係る調査・検証の進め方を検討。一般病棟に入院されている慢性期の患者さんの対応をどの様に対応するかが、焦点となり、今後の患者の流れとして、急性期、慢性期、介護期を検討することとなる。

4. 四病協について

(1) 総合部会（第9回・12月22日）①四病協・総務委員会の運営について:委員長は、総合部会の当番団体の会長があたり、事務局も当番団体の持ち回りとした。②在宅療養支援病院に関する委員会の設置について:12月16日の総務委員会で委員会の設置を了承し、各団体から委員2名を推薦、委員長には、日病・梶原副会長が選任。③厚労省「がん診療連携拠点病院の指定に関する検討会」委員の推薦について:全日本病院協会の宮崎敏夫（全日病・代議員会副議長）の継続就任を承認。④特定看護師（仮称）について:厚労省の「チーム医療の推進に関する検討会」に盛り込まれた特定看護師（仮称）について各団体での意見を検討し、四病協としての見解を示すこととした 等。

(2) 日本医師会・四病協懇談会（12月22日）

①4疾病5事業について:医療計画上の4疾病5事業に精神疾患を加味し、5疾病の提案を日本医師会に提案。②日本医師会「国民の安心を約束する医療保険制度」について:日本医師会が取りまとめた「公的医療保険制度の全国一本化」の内容を検討。③准看護師の生涯教育体制のあり方について:准看護師へ生涯教育の制度化の必要性、厚労省の「看護師等の「雇用の質」の向上に関する省内プロジェクトチーム」の設置に対し、日本医師会、四病協は抗議を行うこととした。

5. 行政関係の各種検討会等の開催報告について

下記諸会議の開催報告が実施され、了承された。

(1) 社会保障審議会 医療部会（第15回・12月22日）:医療提供体制のあり方（医療計画、在宅医療 等）について検討されているが、報告者不在のため、資料一読で報告に換えしたが、医療計画の見直し等に関する検討会での論点整理の現状報告が実施された。

(2) 審査支払機関の在り方に関する検討会（中間的整理）

12月10日に検討会で議論の中間的整理の取りまとめが行われ、概要について報告があった。

6. 第61回日本病院学会の演題募集について

7月14（木）～15日（金）に東京・京王プラザホテルで開催される第61回の日本病院学会の演題募集について報告があった。

7. 参与の追加委嘱について

前常任理事である齊藤 壽一（社会保険中央総合病院 名誉院長）先生の参与追加委嘱について8月6日に代議員各位に書面審理を実施した結果、承認され、8月21日の常任理事会で報告を行っている。参与の委嘱については、代議員会の承認事項であり、3月26日開催の代議員会に上程することとした。

8. 愛知県支部支部長の交代について

愛知県支部支部長の交代について報告があり、了承された。

平成 22 年 7 月 20 日付

(前任者) 福田 浩三 (上飯田リハビリテーション病院 名誉院長)

(新任者) 松本 隆利 (八千代病院 理事長)

9. 役員等のご逝去について

会議冒頭、訃報を報告し、黙祷を実施した。

(理事・前常任理事)

林 雅人 先生 11 月 30 日 (火) ご逝去/12 月 19 日 (日) 林家、平鹿総合病院 合同葬
(元常任理事)

中後 勝 先生 12 月 5 日 (日) ご逝去/1 月 17 日 (月) 社会医療法人愛仁会での法人葬

〔協議事項〕

1. 平成 23 年度事業計画 (案)・予算 (案) の策定について

平成 23 年度の事業計画 (案) の策定にあたり各常任理事から意見提出、各委員長から平成 22 年度の委員会活動、23 年度に向けての活動方針を提出願い、その取りまとめを会長・副会長で行い本日、素案を提出した。本日は素案の検討であり、役員各位の意見を拝聴し、2 月期常任理事会での審議を経て3月の代議員会、総会に上程する運びとなる旨の報告があり、素案を逐一検討した。(案)に盛り込んだ重点項目に対し、「医療のグローバル化」、「二次救急医療への取組実態 (補助金、いわゆる公的資金の活用)」、「医療と介護の分岐」、「診療報酬点数の簡素化」、「支部の活動 (活性化/支部長会議の開催)」等が挙げられた。また、委員会の事項では、人材育成に関わる事項で、研修事業と教育事業に分離し、教育事業として、「栄養管理委員会」を新設した。役員会等の開催計画においては、毎年実施している「新年賀詞交歓会」を関係団体との共催を検討している旨の紹介があった。予算 (案) 策定については、事業計画の確定後に行うとした。

23 年度事業計画の策定については、各意見を会長・副会長会議で取りまとめ、各役員に提示することです承された。

(23 年度事業計画・重点項目/素案)

1. 病院医療の再生
 - (1) 医療人の育成
 - (2) 医療提供体制の見直し
 - (3) 診療報酬体制の見直し
2. 医療の質と安全の取組
3. 情報提供の推進
4. 国際活動
5. 新法人制度への移行と組織強化
6. 病院団体の連携推進
7. 日本病院会創立 60 年記念事業の実施
8. 事務局組織の充実・強化

以上